

がん暮らしフェア2016

体験！より良い治療と生活のための工夫術

共催：藤田保健衛生大学病院 いこいの広場コンサート実行委員会

NPO法人キャンサーリボンズ

開催報告書

2016年10月29日（土）11:00～16:30

藤田保健衛生大学病院 いこいの広場

2016年12月

実施概要

◆イベント名 がん暮らしフェア2016
体験！より良い治療と生活のための工夫術

◆開催日 2016年10月29日(土)11:00～16:30

◆会場 藤田保健衛生大学病院 いこいの広場
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

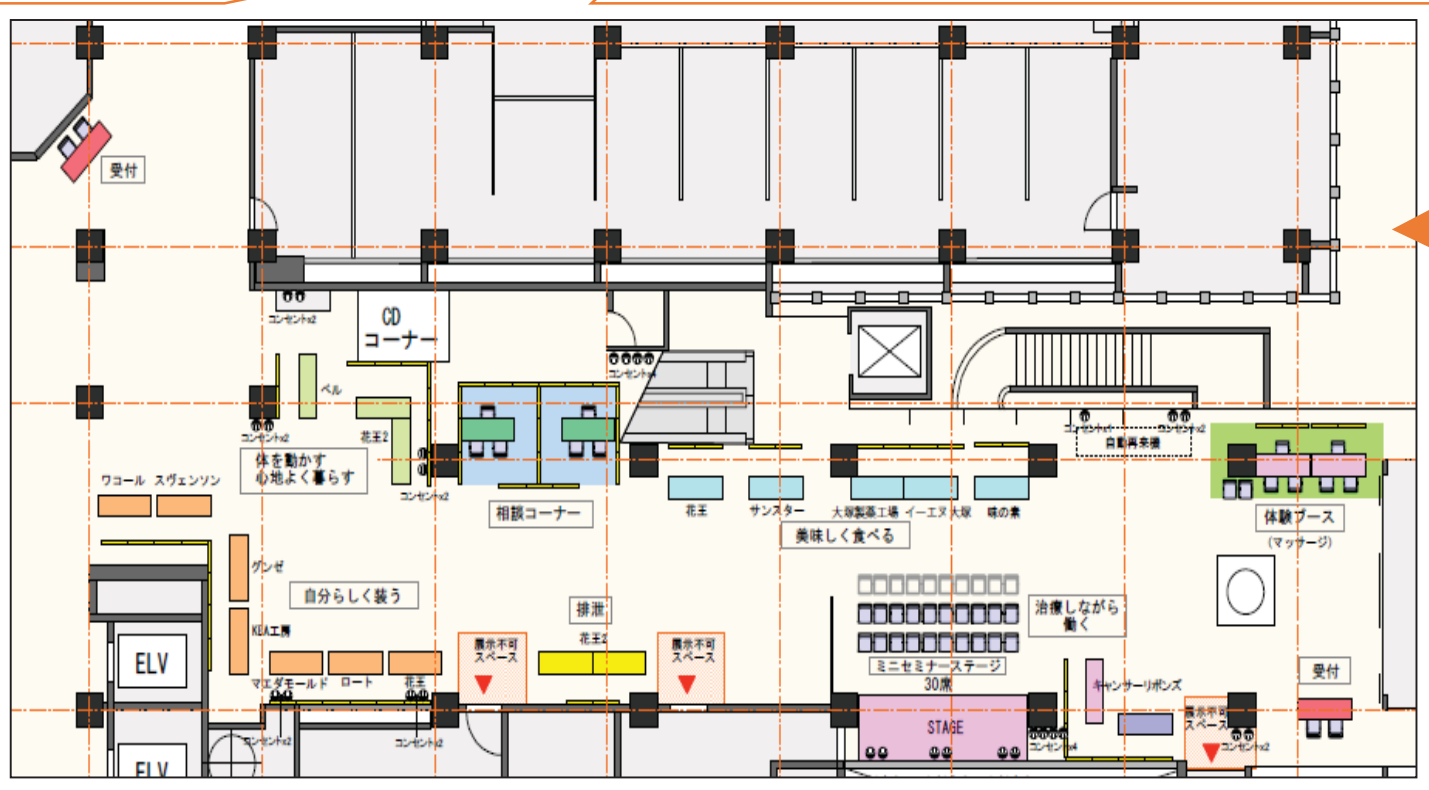
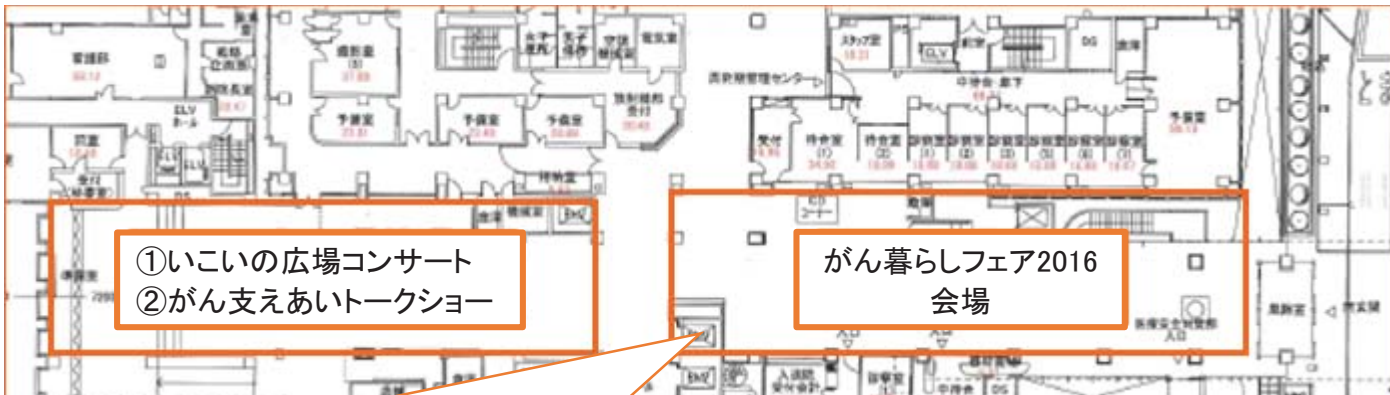
◆参加者数 約500名

【共催】 藤田保健衛生大学病院
いこいの広場コンサート実行委員会
NPO法人キャンサーリボنز

【後援】 愛知県、豊明市、東名古屋豊明市医師会

【協賛】 味の素株式会社
イーエヌ大塚製薬株式会社
株式会社大塚製薬工場
花王株式会社
グンゼ株式会社
株式会社KEA工房
サンスター株式会社
株式会社スヴェンソン
ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー
株式会社ベル
株式会社マエダモールド
ロート製薬株式会社
株式会社ワコール (50音順)

会場図



美味しく食べる

- ・食べにくいときや、飲み込みが難しいときの食事の工夫や製品の試食
- ・栄養食品の紹介
- ・口腔ケア製品の紹介

自分らしく装う

- ・スキンケア製品や洗浄料などの紹介
- ・肌着やブラジャー、下着など洋服の紹介
- ・帽子・ウィッグの試着
- ・アウターやパジャマなどの紹介
- ・化粧品の紹介
- ・人工乳房の紹介

身体を動かす・心地よく暮らす

- ・歩きやすい靴の紹介
- ・体の動きを助けるお掃除製品の紹介
- ・リラクゼーション製品の紹介
- ・消臭ケア製品の紹介

排泄ケア

- ・おむつやパッドの上手な使い方と製品の紹介

治療しながら働く

- ・治療と仕事の両立に役立つ情報やツールの紹介

キャンサーリボンズコーナー

- ・NPOの活動紹介
- ・乳がんの人のための日常レシピなど、書籍の紹介

暮らしの相談コーナー

- ・治療中の食事やお金のことなど、暮らしの困りごと相談

ハンドマッサージ体験コーナー

- ・看護師によるハンドマッサージ体験

会場風景

外来がある土曜日開催ということもあり、来院した患者さんのご家族など、多くの方にご来場いただきました。開場の前から人通りがあり、オープン後に改めて立ち寄ってくださった方も少なくありませんでした。このほか、入院中の方や、看護師など病院スタッフの姿も多く見受けられました。

暮らしセミナーは各回盛況で、参加された方は大変満足された様子でした。

体験展示コーナーでは、多くの方が熱心に企業担当者とお話をされ、展示品への関心がとても高いことが伺われました。また、看護師や病院スタッフの方も生活に役立つ製品について情報交換をされている姿が見られました。



11:00～
開会・ご挨拶



司会:NPO法人キャンサーリボンズ 副理事長 岡山慶子 さん

司会の岡山慶子さんが、がん暮らしフェアのコンセプト、東京や京都での「がん暮らしフェア」などこれまでの経緯、今回、多くのみなさまのご協力により、藤田保健衛生大学病院で開催できることへのお礼などを述べました。



藤田保健衛生大学病院 副院長 今泉和良 さん

がんはもとより、慢性の疾患を持っている方には日常の生活をできるだけ普通に送ることが大切であり、本イベントを通じてそのヒントを楽しく学んでほしい、と挨拶がありました。



藤田保健衛生大学病院 看護部長 眞野恵子 さん

イベント当日は、藤田保健衛生大学病院に在籍する看護師1500名中50名の看護師がスタッフとして参加しており、専門的な知識を持った看護師が治療と生活がつながる事を目指して支援をする旨、挨拶がありました。

暮らしセミナー ②

11:15～11:45

がん治療の悩みに答えるメイクアップレッスン
美容ジャーナリスト/乳がん体験者
山崎多賀子 さん

乳がん体験者の1人として、がん治療時の外見の変化や、それに伴う心の変化を語っていただきました。
髪、眉毛、まつ毛の脱毛により、外見に自信を持てずにいると、治療に対するモチベーションにも悪影響を及ぼします。男女に関わらず、ウィッグやメイクをすることで、モチベーションを高め、前向きな気持ちや自分への自信を取り戻すことの大切さを話されました。
セミナーの後半では、モデルを登壇させてメイクの実演もしていただきました。



11:50～12:10

治療中の生活に求められる下着とは
グンゼ株式会社 研究開発部
川崎陽子 さん

治療中や術後に皮膚の痛みを感じられる方向けの下着の開発経緯と、下着の選び方についてお話いただきました。開発のきっかけとなった、実際に寄せられたお客様からの声の紹介もありました。「スキンケア」というと、保湿剤がイメージされがちですが、直接肌に触れる下着を気にかけることもスキンケアになります。吸収性といった具体的な例をもとに、素材から下着選びのコツを伝授いただきました。参加者には製品を実際にさわっていただき、下着選びの大切さを実感していただきました。



暮らしセミナー ③

12:15～12:35

医療用ウィッグってどんなウィッグ？
株式会社スヴェンソン 名古屋サロン
幹貴依 さん

患者さんから「医療用ウィッグとはどのようなウィッグなのか？」という質問が多く寄せられるという話から、まずは自然な脱毛と化学療法による脱毛の違いについて画像を用いて説明いただきました。そして、日本での医療用ウィッグの歴史や特徴、正しい医療用ウィッグの選び方などについて、ご参加者の方へ質問を投げかけながら、分かりやすくお話しいただきました。

医療用ウィッグは着ける方に気に入っていただき、頭が楽で、生活がしやすくなるものであってほしいと、述べられました。

実際にウィッグを試着された方からは、「とても軽くてさわり心地も良い。購入後にメンテナンスをしてもらえるのも助かる」とのコメントがあがりました。



12:40～13:00

乾燥性敏感肌のためのスキンケアレッスン
花王株式会社 スキンケア事業グループ キュレル担当
関根智子 さん

乾燥性敏感肌のためのスキンケアについて、①こすらない②優しいタッチ③隅々まで塗る。この3つのポイントをもとに、ありがちなスキンケアの間違い、正しいケア方法についてお話しいただきました。

スキンケアは「たたく」のではなく「プレス」する、という説明の際には、手のひらの曲がり方の違いに納得する参加者がいらっしました。また、お風呂上り5分以内の顔や体の保湿と、体のパーツを12カ所に分けてケアをすることをおすすめされました。

参加者は、実際にハンドクリームの塗り方をご自身で試すことができ、楽しく学んでいただけた様子でした。



暮らしセミナー ④

13:05～13:25

サルコペニア(筋肉のおとろえ)の予防

藤田保健衛生大学病院 医学部 外科・緩和医療学講座
准教授 森直治 さん

サルコペニアの予防のためには何が大切なのかをお話いただきました。人の動きはすべて筋肉がつかさどっています。そのため、サルコペニアの予防には筋肉を作る運動と栄養が大切です。栄養の中でも、からだをつくるタンパク質の摂取が特に重要であること、さらに、どのくらい、どのようなタンパク質をとればよいかを説明いただきました。講演後は、サルコペニアに関連する展示ブースへ移動する参加者が多く見られ、参加者の関心の高さが伺えました。



13:30～13:50

がん治療中の口腔ケア

藤田保健衛生大学病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師
田村茂 さん

がん治療時は、副作用の1つとして口腔内のトラブルがとて起こりやすくなります。口腔内のトラブルを最小限に、且つどのように乗り越えればよいか、口腔ケアの重要性や方法についてお話いただきました。口腔内トラブルを防ぐためには、口腔内を清潔に保ち、乾燥させないことです。乾燥を防ぐ製品にはジェルやスプレーなどの種類があるので、ご自身の状況にあわせて使い分けて欲しい、とのアドバイスがありました。

口腔内のトラブルがなければ、口からの栄養摂取が可能になり、治療にも役立つという話には、参加者の多くが頷いていました。



暮らしセミナー ⑤

15:20～15:40

抗がん剤治療と副作用のセルフケア

藤田保健衛生大学病院 看護部外来薬物療法センター

がん化学療法看護認定看護師

野田早智恵 さん

セミナー最後は、抗がん剤治療の際の副作用、副作用のセルフケアについてお話いただきました。今でも多くの方が抗がん剤治療には吐き気や脱毛といった強い副作用のイメージがあるという話から、症状を我慢する患者さんもあるというお話があり、「吐き気が出たら無理はせず、薬を試してください」とのアドバイスがありました。

脱毛が気になる方へは、帽子の着用や、ほこりや細菌が体内に侵入するのを防ぐためのマスクとめがねの着用といった、誰もがすぐに日頃からできる暮らしの工夫についてお話いただきました。

最後に、副作用は個人差が大きいため、つらい時は我慢せず、医療スタッフへ相談してください、と締めくくられました。



副作用の苦痛度ランキング			
＜男性＞		＜女性＞	
順位	症状	順位	症状
1位	全身の痛み	1位	頭髪の脱毛
2位	吐き気	2位	吐き気
3位	発熱	3位	しびれ
4位	口内炎	4位	全身の痛み
5位	しびれ	5位	便秘



暮らしセミナー 司会・進行

藤田保健衛生大学病院 緩和ケア病棟 看護長 須原由紀 さん

お楽しみプログラム

14:00～15:10

藤田保健衛生大学病院第134回いこいの広場コンサート

各種楽器の演奏やハンドベルと歌、男声アカペラによるコンサートで会場は盛り上がりました。



15:50～16:20

がん支えあいトークショー

○タレント・乳がん体験者・NPO法人キャンサーリボンズ委員

山田邦子 さん

○藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座 教授

東口高志 さん

○楽器演奏

藤田保健衛生大学共同利用研究施設分子生物学 准教授

山本直樹 さん 他有志

○リボンパフォーマー NPO法人キャンサーリボンズ 三枝涼子 さん

○司会 NPO法人キャンサーリボンズ副理事長 岡山慶子 さん



山田さんの登場で会場は一気に華やぎました。

山田さんは、参加者へ「笑いましょう」と語りかけ、軽妙なトークで会場を盛り上げました。東口先生とのかけあいでは、がんについての最新の情報に加えて、検診の大切さまでしっかりアピールしていました。

ショーの後半では、山田さんによる楽しい発声指導後、いこいの広場コンサート出演者の演奏のもと、「あなたが大切だから」を会場一体となって歌いました。今回は歌と一緒にリボンを使った素敵なパフォーマンスもあり、参加者の皆さまの温かい笑顔がとても印象的なコンサートとなりました。会場を後にする山田さんへ会場から大きな拍手が送られました。



体験展示コーナー ①

美味しく食べる

- ・食べにくいときや、飲み込みが難しい
ときの食事の工夫や製品の試食
- ・栄養食品の紹介
- ・口腔ケア製品の紹介



イーエヌ大塚製薬株式会社



株式会社大塚製薬工場



味の素株式会社、
ネスレ日本株式会社ネスレヘルスサイエンスカンパニー



花王株式会社



サンスター株式会社

体験展示コーナー ②

自分らしく装う

- ・スキンケア製品や洗浄料などの紹介
- ・肌着やブラジャー、下着などの紹介
- ・帽子・ウィッグの試着
- ・アウターやパジャマなど洋服の紹介
- ・化粧品の紹介
- ・人工乳房の紹介



花王株式会社



株式会社KEA工房



株式会社スヴェンソン



グンゼ株式会社



株式会社
マエダモールド



ロート製薬株式会社



株式会社ワコール

体験展示コーナー ③

身体を動かす・心地よく暮らす

- ・歩きやすい靴の紹介
- ・体の動きを助けるお掃除製品の紹介
- ・リラクゼーション製品の紹介
- ・消臭ケア製品の紹介



株式会社ベル



↑ 花王株式会社 ↓

排泄ケア

- ・おむつやパッドの上手な使い方と製品の紹介



花王株式会社



体験展示コーナー ④

治療しながら働く

- ・治療と仕事の両立に役立つ情報やツールの紹介



がんサリボンズコーナー

- ・NPOの活動紹介
- ・チャリティーグッズ
- ・乳がんの人のための日常レシピ
など、書籍の紹介



体験展示コーナー ⑤

暮らしの相談コーナー

- ・治療中の食事やお金のことなど、暮らしの困りごと相談

実際に寄せられた相談例

- ・肝機能を示す数値上昇への不安
- ・ホルモン治療によるほてり
- ・内服抗がん剤治療による食欲低下、短期間での体重減少
- ・食事内容(入院中に摂取していた製品の継続について)
- ・セカンドオピニオン後の、他病院への移動と以前の病院へ戻ることの可否
- ・化学療法後の副作用(爪の変化)
- ・化学療法中の歯痛
- ・リンパ浮腫の注意点、
- ・治療期間中の生活の注意点



ハンドマッサージ体験コーナー

- ・看護師によるハンドマッサージ体験

担当看護師による反省と改善点

- ・4人体制で実施していたため、一度に数名の参加者があっても5分以内の待ち時間で、スムーズに稼働できた。
- ・ハンドマッサージを行えるスタッフが15名程度いたため、無理なく実施できた。しかし、応援のスタッフが多く、少し余ったように感じた。
- ・南玄関の入り口付近であったため、防寒のために、急遽電気ヒーターを施設部から借用して対応した。しかし、歩いて来られた参加者からは、「暑い」との声もあった。そのため、声をかけながら適宜調整して使用した。
- ・入り口付近で、体験展示コーナーや暮らしセミナーのステージから少し離れていたこともあり、来られた方・帰られる方への声かけが気軽にできて、立ち寄っていただくことができた。

